

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ソフィアホールディングス
 コード番号 6942 URL <http://www.sophia.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 木下 真行
 (氏名) 諸星 幸則

TEL 03-6205-5330

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	2,973	16.0	△20	—	△13	—	△165	—
26年3月期第3四半期	2,562	47.6	△41	—	△5	—	△10	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 △161百万円 (—%) 26年3月期第3四半期 11百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	△7.83	—
26年3月期第3四半期	△0.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	3,769	1,125	28.5	49.12
26年3月期	2,825	1,128	38.6	53.97

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 1,075百万円 26年3月期 1,090百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

当社グループを取り巻く事業環境は短期的に大きく変動する傾向にあり、業績の見通しにつきましては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期ごとに決算実績及び事業の概況をタイムリーに開示することにつとめ、業績予想の開示を控えさせていただきます。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 株式会社アクア 、 除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	22,377,200 株	26年3月期	20,693,000 株
27年3月期3Q	483,661 株	26年3月期	483,461 株
27年3月期3Q	21,146,469 株	26年3月期3Q	20,210,487 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策などの効果もあり、企業収益や雇用・所得環境の改善傾向が続くなか、景気は緩やかな回復基調となりましたが、急激な円安による輸入価格の上昇などに伴う消費者マインドの低下や海外景気の下振れなど、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが関連する業界におきましても、企業のIT関連投資に対する慎重な姿勢は継続しており、持ち直しの動きが期待されるものの、受注環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような事業環境のもと、当社グループにおきましては、多様化する顧客のニーズに対応するためのサービス、企画及び開発等、業容拡大を目指し積極的な活動を行うとともに、収益構造の強化を目的として各事業部門の収益管理をより一層徹底し、グループ全体の業績向上に努めてまいりました。

また、当社グループの更なる事業の拡大を図るべく、医療情報管理ソフトウェアの開発、販売および保守等を軸に事業を展開する株式会社ナノメディカルを子会社化し、連結の範囲に含めております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高が2,973百万円（前年同四半期は2,562百万円）となりました。損益面は、営業損失20百万円（前年同四半期は営業損失41百万円）、経常損失13百万円（前年同四半期は経常損失5百万円）、四半期純損失165百万円（前年同四半期は四半期純損失10百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[インターネット関連事業]

インターネット関連のシステム開発及び運営支援、業務コンサルティング、データセンターの運用保守等を行い、売上高は1,345百万円（前年同四半期は1,232百万円）となりました。

[ECサイト関連事業]

シューズ、ウェア等アパレル製品のインターネット通信販売等を行い、売上高は1,223百万円（前年同四半期は1,316百万円）となりました。

[健康医療介護情報サービス事業]

当第3四半期連結会計期間において、株式会社ナノメディカルの連結子会社化に伴い、新たなセグメント「健康医療介護情報サービス事業」を新設いたしました。

なお、当第3四半期連結累計期間においては、みなし取得日を平成26年12月31日としているため、貸借対照表のみを連結しており、損益に与える影響はありません。

[遺伝子情報サービス事業]

遺伝子解析キットの販売及び遺伝子情報の解析等を行い、売上高は362百万円となりました。

[デジタルプロダクツ事業]

デジタル製品（ARecX6チューナーレコーダー）の販売等を行い、売上高は46百万円（前年同四半期は2百万円）となりました。

[海外事業]

東アジア圏におけるIT事業の情報収集等を行い、グループ各社に対して事業機会の情報提供、ビジネスの仲介業務等を行い、売上高0百万円（前年同四半期は1百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ944百万円増加し、3,769百万円となりました。これは現金及び預金の増加644百万円、のれんの増加499百万円等によるものであります。

負債につきましては前連結会計年度末に比べ946百万円増加し、2,643百万円となりました。これは預り金の増加416百万円、長期借入金の増加107百万円等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2百万円減少し、自己資本比率は28.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く事業環境は短期的に大きく変動する傾向にあり、業績の見通しにつきましては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期ごとに決算実績及び事業の概況をタイムリーに開示することにつとめ、業績予想の開示を控えさせていただいております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、株式会社アクアの全株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において営業損失(101百万円)及び当期純損失(56百万円)を計上し、平成24年3月期より3期連続で営業損失及び当期純損失となったことから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当該状況を解消すべく、当社グループでは下記の対応策を実施することにより、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

収益面につきましては、現在、経営の立て直しと業績の早期回復を行うために、収益が見込める事業への経営資源の集中、役員報酬や人件費低減並びに一般管理費等のコスト削減などを行っております。また、今後、収益改善が見込めない事業からの撤退をし、収益力があるインターネット関連事業、ECサイト関連事業への特化を行ってまいります。

インターネット関連事業については、ASP事業における顧客への展開、サービス・商品の開発を継続的に実施し、これまでのノウハウを集約したソリューションの販売を推進致します。また、顧客の業務効率化に資するソリューションの提供により、顧客との継続的な取引を実現し収益基盤とする方針です。

ECサイト関連事業につきましては、当社グループのノウハウや資金等の投入により、更なるコスト削減と運用の効率化により、会員数増加と収益力向上を実現する方針です。

資金面につきましては、当面の運転資金は確保できておりますが、役員報酬や人件費の低減、一般管理費の削減によるキャッシュフローの改善が見込まれ、また、保有している金融資産等の売却や新たな資金調達も視野に入れて検討しております。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,125,231	1,770,150
受取手形及び売掛金	405,823	473,606
商品及び製品	256,863	266,322
原材料及び貯蔵品	5,092	3,766
その他	87,677	86,145
貸倒引当金	△1,656	△2,137
流動資産合計	1,879,032	2,597,853
固定資産		
有形固定資産	54,948	124,102
無形固定資産		
のれん	289,216	788,328
その他	34,904	57,233
無形固定資産合計	324,121	845,562
投資その他の資産		
投資有価証券	466,529	131,884
敷金及び保証金	18,063	32,786
その他	101,824	149,916
貸倒引当金	△19,380	△112,844
投資その他の資産合計	567,036	201,742
固定資産合計	946,106	1,171,407
資産合計	2,825,138	3,769,260

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	210,717	263,820
短期借入金	600,000	670,000
1年内返済予定の長期借入金	158,738	218,220
未払法人税等	4,217	42,640
預り金	485,057	901,491
その他	131,593	296,834
流動負債合計	1,590,323	2,393,005
固定負債		
長期借入金	70,289	177,522
その他	36,505	73,241
固定負債合計	106,794	250,763
負債合計	1,697,117	2,643,769
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,108,000	2,108,000
資本剰余金	250,397	402,986
利益剰余金	△1,201,811	△1,367,318
自己株式	△61,221	△61,269
株主資本合計	1,095,365	1,082,398
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	590	△239
為替換算調整勘定	△5,247	△6,832
その他の包括利益累計額合計	△4,656	△7,071
新株予約権	37,312	34,132
少数株主持分	—	16,032
純資産合計	1,128,020	1,125,491
負債純資産合計	2,825,138	3,769,260

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	2,562,714	2,973,832
売上原価	1,587,631	1,838,951
売上総利益	975,083	1,134,880
返品調整引当金戻入額	2,493	3,626
返品調整引当金繰入額	2,314	2,867
差引売上総利益	975,261	1,135,640
販売費及び一般管理費	1,016,521	1,156,564
営業損失(△)	△41,260	△20,924
営業外収益		
受取利息	16,635	1,291
受取配当金	321	78
匿名組合投資利益	33,611	20,400
その他	13,320	4,496
営業外収益合計	63,888	26,266
営業外費用		
支払利息	13,152	15,397
持分法による投資損失	12,782	—
その他	2,158	3,151
営業外費用合計	28,093	18,548
経常損失(△)	△5,464	△13,206
特別利益		
投資有価証券売却益	10,077	—
債務免除益	3,753	—
新株予約権戻入益	3,180	3,180
特別利益合計	17,010	3,180
特別損失		
固定資産除却損	—	21,798
関係会社株式売却損	15,520	—
和解金	4,200	17,000
持分変動損失	—	6,090
事業譲渡損	—	55,197
特別損失合計	19,720	100,086
税金等調整前四半期純損失(△)	△8,173	△110,112
法人税、住民税及び事業税	1,503	41,169
法人税等調整額	566	7,952
法人税等合計	2,069	49,122
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△10,243	△159,234
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△147	6,272
四半期純損失(△)	△10,095	△165,507

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△10,243	△159,234
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24,427	△830
為替換算調整勘定	△2,488	△1,585
その他の包括利益合計	21,938	△2,415
四半期包括利益	11,695	△161,650
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,843	△167,922
少数株主に係る四半期包括利益	△147	6,272

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

株主資本の著しい変動

当社は、平成26年8月1日付の株式交換により新株を発行し、株式会社ジーンクエストを連結子会社としました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が152,589千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が402,986千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	インターネット 関連事業	ECサイト 関連事業	デジタル プロダクツ事業	海外事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	1,215,370	1,315,782	2,228	104	2,533,485
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17,369	803	207	922	19,303
計	1,232,740	1,316,586	2,436	1,027	2,552,789
セグメント利益又は 損失(△)	42,163	46,395	△2,992	△170	85,395

(注) 当社グループは平成25年3月をもってモバイル事業から撤退しており、同事業を営んでおりました連結子会社株式会社ソフィアモバイルは、平成25年3月29日付をもって解散及び特別清算を決議し、平成25年10月31日付をもって特別清算終了いたしました。

また、ECサイト関連事業を営んでおりました連結子会社トレンドライン株式会社は、平成26年1月31日付をもって解散及び特別清算を決議し、現在特別清算手続中であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	85,395
セグメント間取引消去	4,328
のれんの償却額	△30,772
全社損益（注）	△98,029
その他の調整額	△2,182
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△41,260

(注) 全社損益は、主に提出会社に係る損益であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	インターネット 関連事業	ECサイト 関連事業	健康医療介護 情報サービス事 業	遺伝子情報 サービス事業	デジタル プロダクツ事業	海外事業	計
売上高							
外部顧客への売上高	1,334,286	1,223,748	—	362,248	46,291	7	2,966,582
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,235	—	—	—	419	248	11,903
計	1,345,522	1,223,748	—	362,248	46,711	255	2,978,485
セグメント利益又は 損失(△)	65,632	△67,384	—	124,281	△15,444	△474	106,610

- (注) 1. 「ECサイト関連事業」を構成する企業のうち、トレンドライン株式会社は平成26年4月25日をもって特別清算終了いたしました。
2. 第1四半期連結会計期間において、株式会社アクアを連結子会社化いたしました。これに伴い、「インターネット関連事業」の報告セグメントに含めております。
3. 第2四半期連結会計期間において、株式会社ジーンクエストを連結子会社化いたしました。これに伴い、新たなセグメント「遺伝子情報サービス事業」を新設いたしました。
4. 当第3四半期連結会計期間において、株式会社ナノメディカルを連結子会社化いたしました。これに伴い、新たなセグメント「健康医療介護情報サービス事業」を新設いたしました。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	106,610
セグメント間取引消去	652
のれんの償却額	△31,432
全社損益(注)	△92,896
その他の調整額	△3,858
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△20,924

(注) 全社損益は、提出会社に係る損益であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第2四半期連結会計期間において、株式会社ジーンクエストを連結子会社化したことに伴い、新たなセグメント「遺伝子情報サービス事業」を設けております。

当第3四半期連結会計期間において、株式会社ナノメディカルを連結子会社化したことに伴い、新たなセグメント「健康医療介護情報サービス事業」を設けております。

4. 報告セグメントごとの資産に関する情報

「デジタルプロダクツ事業」の一部を事業譲渡したことにより、同事業の資産合計は49,259千円減少しております。

「健康医療介護情報サービス事業」が新たなセグメントとして加わったことにより、同事業の資産合計は184,036千円増加しております。

5. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「健康医療介護情報サービス事業」セグメントにおいて、株式会社ナノメディカルを連結子会社化したことにより、のれんの金額に重要な変動が生じております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては147,644千円であります。

全社において、株式会社サルースの株式を追加取得したことにより、のれんの金額に重要な変動が生じております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては94,290千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。